

RS アダプター MAJ-1715

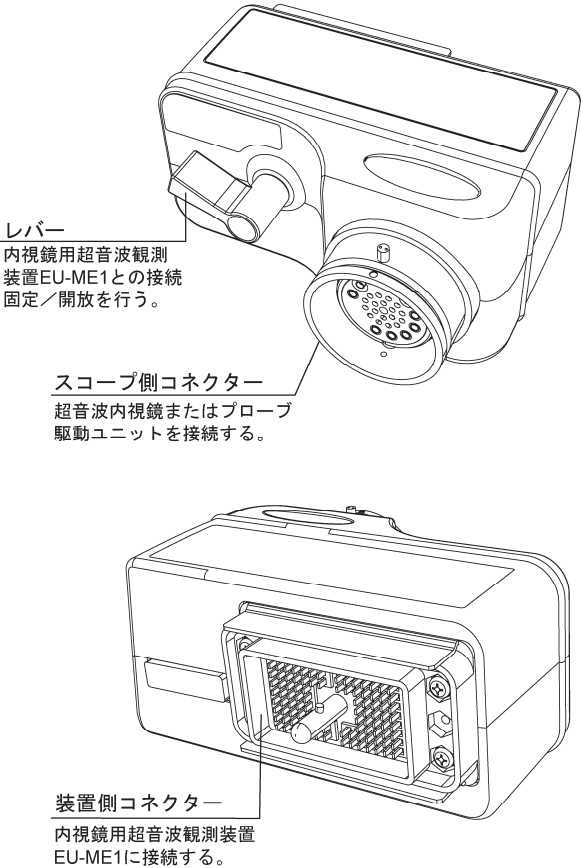
【形状・構造及び原理等】

** 構造・構成ユニット

- 1.構成
本製品は以下のものより構成される。

RS アダプター MAJ-1715

2.各部の名称



3.仕様

項目	仕様
観察	超音波内視鏡または超音波プローブの電気信号を内視鏡用超音波観測装置に伝達する。

作動・動作原理

超音波内視鏡、または超音波プローブの電気信号を内視鏡用超音波観測装置に伝達する。

* 【使用目的又は効果】

使用目的

本製品は、当社指定の超音波内視鏡、プローブ駆動ユニットおよび内視鏡用超音波観測装置と組み合わせて、超音波画像をモニター上で観察できるようにすることを目的としている。

* 【使用方法等】

- RS アダプターの装置側コネクタを内視鏡用超音波観測装置の左ソケットに接続し、レバーを時計方向に回して固定する。
- 超音波内視鏡またはプローブ駆動ユニットを RS アダプターのスコープ側コネクタへ接続する。

超音波内視鏡の接続方法に関する詳細については、『取扱説明書』の「6 準備と点検」を参照にすること。

使用方法に関する詳細については、『取扱説明書』の「7 使用方法」を参照にすること。

【使用上の注意】

*重要な基本的注意

- 一般的事項
- フリーズ解除の操作をしたにもかかわらず超音波画像が正常に更新されない場合は、そのまま放置せずフリーズの操作を行い、内視鏡用超音波観測装置の電源スイッチを OFF にすること。そのまま放置すると駆動部本体が高温になりやけどや機器の故障のおそれがある。その後、最寄りのサービスセンター、または当社支店、営業所まで問い合わせること。
 - スコープ側コネクタおよび装置側コネクタ接続部に指や異物を入れないこと。RS アダプターの故障の原因となる。
 - 内視鏡用超音波観測装置の電源スイッチランプまたはアクティブランプが消灯していることを確認して、装置側コネクタ、超音波内視鏡またはプローブ駆動ユニットの着脱を行うこと。電源スイッチランプまたはアクティブランプが点灯した状態で着脱すると、機器が故障するおそれがある。

*不具合

その他の不具合
機器の故障

*有害事象

その他の有害事象
やけど

* 【保管方法及び有効期間等】

耐用期間

- 本製品の耐用期間は製造出荷後（納品後）6 年とする（自己認証（当社データ）による）。なお、本製品の『取扱説明書』にしたがって使用前点検及び定期点検を実施し、点検結果により修理またはオーバーホールを必要であれば実施すること。
- 本製品の使用に際しては以下の点に特に注意すること。
スコープ側コネクタ：超音波内視鏡を無理な力で差し込んだり、正しくない手順で差し込むと故障の原因となる。

【保守・点検に係る事項】

*使用者による保守点検事項

使用前に『取扱説明書』に従って点検すること。点検結果により修理またはオーバーホールを必要であれば実施すること。

*****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

製造販売元：

オリンパスメディカルシステムズ株式会社
〒192-8507 東京都八王子市石川町 2951

お問い合わせ先
TEL 0120-41-7149（内視鏡お客様相談センター）

取扱説明書を必ずご参照ください。